

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー会長 K. R. "ラビ" ラビンドラン



2015-2016年度

会長:丸山弘昭 幹事:田中正次 クラブ会報委員長:川中有志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2015 October 28

■ 2015 ~ 2016 年度方針

“楽しくそして為になるRCを!!”

NO.14

## 例会報告

- 第2102回例会 平成27年10月28日(水) 晴
- 10月は経済と地域社会の発展・米山月間
- ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 109 名中 出席78名

出席率78.00%

### ● ビジター紹介

後藤 真君 (あまRC)

### ● ゲスト紹介

加藤重和君 ゲスト カオ・ソクンタオボリさん

### ● ニコボックス

「富島先生、中野さん、林さんご機嫌伺いに参りました。  
加藤寿彦先生体調いかがですか?」

あまRC 後藤 真君

「先日の第3回「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」は2日間好天に恵まれ大盛況でした。子会社を通して企画・運営でご協力いただいている谷様、例年大口の広告協賛を引き受けていただいている「つばめ自動車」の天野清美様、さらには天野眞明様、小林利之様、「一柳葬具総本店」の加藤智弘様など当名古屋和合RCの皆様の温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。」

WFF実行委員会 篠橋美久委員長(名古屋中RC)

福田哲三副委員長(名古屋和合RC)

「本日の卓話をさせていただきます。又ゲストで連れてきましたルミコをよろしくお願いします。」 加藤重和君  
「あまロータリー後藤さんのご来訪を歓迎します。」

富島照男君

「先々週の日曜日の「ゴルフ通の会」で思いがけず優勝しました。一緒にプレーした安井隆豊さん、小林利之さん、そして柴田さん(セントクリークのキャディさん)のお陰と感謝しています。」

丸山弘昭会長

本日のニコボックス 5件 16,000円

累 計 83件 891,000円

## 柏木博喜副幹事報告

△11月のロータリーレート

11月のロータリーレートは1ドル120円です。

△当クラブ行事予定

・ 10月28日(水) 本日、例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・ 11月11日(水) もみじ夜間例会、18時~、  
場所はか茂免です。

※お昼の例会はございません。

・ 11月25日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

※本日、クラブアッセンブリーのご案内を配布しております。

ます。

※11月1日(日)地区大会の出席義務者の方は、11時、本会議登録受付です。終了は17時30分です。

場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※本日、会員名簿を配布しております。

## 丸山弘昭会長挨拶

前回の挨拶でもお話しましたが、石油メジャーのロイヤル・ダッチ・シェルは1980年代に自らが永続する企業となるために長寿企業を調査しました。その調査研究から得られた結論は次の4点です。①環境変化に敏感である②事業の独自性と社員の結束力がある③分散的に経営され自由度がある④財政的には保守的である。先月中頃、この条件に当てはまる優良会社を訪問しましたので紹介します。

東京商工会議所が2000年から始めている表彰制度に「勇気ある経営大賞」がある。クリエイティブな発想で独自の技術・独自のビジネスモデル・独自の商品企画を武器に時代の変化にチャレンジしている企業を表彰する制度があります。

私はその第一回受賞企業を取材し、1冊の本にまとめた(変える勇気が会社を強くする/中経出版)。この時の受賞企業の一社で株生活の木(以下S社、重永忠社長)S社はハーブ、エッセンシャルオイルの原料を世界50ヶ国以上から調達し、種々なハーブ・アロマテラピー製品を企画・開発・製造・直営店での販売・卸売をしている会社です。

私は当時からS社の事業と重永社長の経営スタイルに強い関心を持っており、定期的に店舗を利用すると同時に重永社長にも数年に1回面談し、S社の現在と将来について話を聴いています。

先月中頃に重永社長と3年振りに面談し、S社は順調に発展し重永社長も自身の経営に益々自信を深めていると実感した。重永社長が目指す経営は『「社員の幸せ」を一番に考える』である。分かり易く表現すれば社員全員を家族とみなす経営である。重永社長から聴いたことをいくつか挙げてみます。

一つ目は毎年9月1日(S社は8月末決算)に行う経営方針発表会である。前期の経営実績の報告と優秀店舗・個人の表彰ならびに新年度の経営方針が説明されます。方針発表会で全社員に配られる新年度の経営方針書は、重永社長は経営方針全般に関わる部分だけ(実はこの方針が経営には最重要ではあるが)作成するが、部門レベルとの計画は150の部門から年度計画と収支計画が上がってくる。

S社には「ノルマ」という言葉は無い。重永社長が経営トップとして会社が向かうべき方針(ビジョン)は示すが、方針の具体的な展開は部門にまかせる経営である。

二つ目は利益の1/3が「決算賞与」として全社員に支給される業績連動決算賞与である。利益3分法で決算賞与、内部留保、来期以降先行投資で1/3ずつ利益処分することがルールである。決算賞与は赤字部門にも支給される。全社員へ基本給比例で決算賞与が支給されるのは、重永社長の原材料の調達・新製品開発・製造・物流・販売はすべて「オール自前主義」で行い、各部門が連携プレーで協力して初めて良い成果が出るという発想に依る。

三つ目は重永社長自らが積極的に関与する採用活動である。S社は一人ひとりがすべてそれぞれの持ち場で輝く人財（人材ではない）でなければならないと考えている。例えば直近の新卒採用は3,000名がエントリーして、1,000名が会社説明会に参加し、第6次までの面接を経て、9名が入社している。誰でも知っている大企業の内定を断つてS社に入社する学生も多いようである。重永社長自らが会社説明会で熱く語るS社の事業、社会でのお役立ち、社員を信頼し仕事をまかせる、誇りの持てる社風に共感した優秀な学生が入社していくと想像できる。ユニークなのは今年入社した9名への入社前の4日間の長野県での合宿研修である。9名へは何をするのかを事前には伝えない。4日間でチームビルディングとは何かを徹底して教える体育会系の研修のようであるが、この合宿を終え9名はS社の家族の一員として認められることになる。ちなみに入社辞退者はゼロである。

重永社長の経営は「社員の幸せ」を一番に考える経営をやり抜く首尾一貫、言行一致の経営スタイルである。筆者の想像であるが重永社長は全社員から信頼され愛される自慢の社長であると思う。会員の皆様もご参考にされてみてはいかがでしょうか。

## 卓話

### 国際奉仕の活動報告



加藤重和国際奉仕委員長  
ご承知のとおり、「国際奉仕委員会」は、皆様の貴重な淨財の一部をお預かりし、その活動費に充てておりますため、報告責任、さらには、説明責任がございます。  
本年度も、スタートして、4半期を過ぎたところでございますが、丸山会長、加藤一郎副会長、田中幹事のご指導のもと、山本副委員長ほか、委員会メンバーの皆さん、絶大な協力を得て、年度計画を、着々と推進しております。

国際奉仕の、今年度の課題は3つありますとおり、

- 1.カンボジア学生のホームステイ計画の策定と実行、
- 2.2年前の、WFFがらみで行った、カンボジア水事業のその後の現地視察、
- 3.WCSへの協賛、の、3つのテーマです。

この中で、本年度一番のメインテーマである、「1.カンボジア学生のステイ計画」を、現在実行中です。

本日、ここに連れて来ましたのは、カンボジア王国から招へいした、大学生です。

あとで、自己紹介などしてもらいますが、まずは、この子の大学紹介、さらにこの子の選出経緯などを、お話しします。

大学は、カンボジアの首都プノンペンにある、「王立プノンペン大学」で、この子は、ここの、外国語学部、日本語学科の3年生です。

「王立」と言るのは、実は国立なんですけど、もともと、前国王であるシハヌークが提唱して、創立されたため、「王立」と言う名がついています。

プノンペンには、現在、「王立」の大学が4つあり、プノンペン大学は、その中では、一番古い、総合大学です。

それ以外には、王立医科大、王立芸術大、王立法律経済大学が、それぞれ存在していますが、どれも専門性の高い大学です。

プノンペン大学は、カンボジアで最大の総合大学で、現在の学生数は23000人おります。

名古屋大学の倍くらいです。

私が、5年前に、訪問した時は1万人ちょっとでしたから、ここ数年で、急増しています。

プノンペン大学は、総合大学ですので、日本と同じように、いろんな学部があり、その中に、「外国語学部」もあります。(Institute of Foreign Languages)

の中には、英語、中国語、韓国語、フランス語、タイ語、そして、日本語学科があります。

歴史的には、日本語学科は、比較的新しくて、今年で10周年です。

日本語学科の学生数は、私が、5年前に、初めて訪問した時は、1~4年生で、総勢200名いなかつたんですけど、ここ2~3年で、イオンなどの日本企業が進出した事により急増し、現在は、450名おります。(500名は、時間の問題です)

学費は、年間500ドルで、他の学部や学科に比べると、安い事もあり、ここは、貧乏学生が多い、学内でもトップクラスの、貧乏学科です。

校舎も、他の学科に比べると、非常に貧乏で、田舎の小学校みたいに、平屋の校舎があるだけです。

もちろん、エアコンなどの、設備もありません。

大学側でも、昨年夏から、10周年に合わせて、新しい校舎ビルの計画が持ち上がり、今年の8月27日に、晴れて、起工式が催されました。

この3階建ての校舎ビルは、広島に本社のある、日本の建築会社が施行しております、来年5月に完成しますから、私も、非常に楽しみです。

この起工式の時、学長のあいさつの後、お祝いの歌を歌ったのが、ここにいる、タウリーです。

この子を、今回のホームステイプログラムの候補者に選んだのは、日本語学科長の、ラスミー教授で、まさに、丸山会長好みの、グッドチョイスだったと思います。

来日したのは、先週土曜日の24日で、日本には、来月7日まで、二週間滞在させます。

今日が、来日4日目ですが、ステイしているのは、日本で唯一、カンボジアとのフレンドシップ提携を結んでいる額田郡幸田町で、ここに国際交流協会、および、教育委員会の協力を得て、幸田町の、深溝(ふこうず)小学校、さらに地元の名門、幸田中学校に毎日通っておりまして、この子供たちに混ざって、日本の子供教育を実体験しています。

### ●第4回理事会（平成27年10月28日（水）例会終了後、ウェスティングナゴヤキャッスル）

#### ・新入会員推薦の件

伊藤 正秀氏（天野清美君、渡邊泰幸君紹介）  
職業分類 不動産管理

武藤 茂樹氏（吉田正道君紹介）

- ・武藤茂樹氏に伴う職業分類オープンの件  
グループ「家具」職業分類「家具製造・販売」
- ・プログラム委員長を理事役員に追加する件  
(2016~17年度)
- ・年末会員家族懇親会の件
- ・その他

### ●11月度誕生日祝福

#### 会 員

#### ご夫 人

柏木順壱君(11月1日)	須賀邦一郎夫人(11月5日)
南 喜幸君(11月2日)	吉田正道夫人(11月6日)
黒田武志君(11月5日)	石川雅道夫人(11月8日)
中浜明光君(11月5日)	林 邦司夫人(11月17日)
野田俊幸君(11月9日)	本多國泰夫人(11月21日)
佐藤公俊君(11月10日)	近藤東臣夫人(11月28日)
上村晋也君(11月11日)	野田俊幸夫人(11月28日)
長谷川通雄君(11月15日)	
柏木博喜君(11月19日)	
内藤博文君(11月19日)	
内間三好君(11月21日)	
川畑 元君(11月26日)	
町田重夫君(11月27日)	
鷲塚貞長君(11月27日)	

例会	月日	今後の予定
第2103回	11.4	ロータリー財団月間に因んで 第2760地区ロータリー財団委員会 鈴木文勝委員長(小牧RC) 「ロータリー財団の今と戦略計画」
第2104回	11.11	もみじ例会 18:00~か茂免 (お昼の例会はありません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。